

学校法人 東京キリスト教学園
2024 年度事業計画

総合神学科の完成年度を迎え、教育課程の検討を推進し、組織改革を継続する。「第 4 期中期計画」に掲げられた財政基盤の確立を図るため、2024～2025 年度の2年間は付属機関（共立基督教研究所・国際宣教センター・教会音楽アカデミー）と介護福祉士実務者研修を休止し、学部と大学院の教育・研究に集中する。また、全学を挙げて学生募集と寄付金募集を推進する。

総務部

「第4期中期計画」に掲げられた財政基盤の確立のために 2023 年度に立案された「施設・設備の修繕計画」及び「基本財務計画」を確実に遂行し、意思決定機関等に適切な情報提供を行う。同時に、大学組織全体（附属機関等含む）を支える基盤整備を他部署と協力のもと行う。

教務部

神学部総合神学科の完成年度を迎えるにあたり、ピアサポートによる新たな修学支援制度を通して各学生のニーズに合わせた学修支援を行うとともに、ハイブリッド対応の教室を拡充して大学院を中心にオンライン教育のさらなる充実を目指す。また、総合神学科各専攻の国内外での実習等、多様な学習環境を提供する。

学生部

継続的に寮生活を重要な教育の機会として位置付けつつ、通学生を含めた学生支援（奨学金、学生相談室、健康相談室、キャリア支援等）を他部署と連携しつつ行う。キャリア支援室では次世代教職員の人材育成に力を入れる。健康相談室は新体制での運用を行い、奨学金委員会では引き続き奨学金のあり方と運用方法に関する検討を行う。

企画広報部（現企画広報室）

入学定員充足（学部1年33、編入 14、修士 18、博士 2）を目標にし、学生募集と支援会活動を全学挙げて取組む体制を作る。学生数増につながる可能性がある教会・学校・団体の開拓に取り組みと共に、国内外（米国、韓国）の支援会組織との連携を強化する。また、ブランディングによる効果的な広報を行う。